

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月3日

場所：共和のもりセンター

開催地区：共和地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
道路関係	・ スマートIC周辺には、企業を誘致したらどうか。	・ スマート I C 周辺はのり面で平らな場所がないが、道の駅やふれあいビレッジ、丹沢湖や周辺道路を含めた開発を検討するべきと考えている	・ （仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、産業振興ゾーンとして諸渕地区、平山地区に企業誘致を考えている。
	・ R246安戸トンネル付近の道路は拡幅し、渋滞緩和策を考えたらどうか。		信号の停車位置は拡幅した。
交通関係	・ 共和の福祉バスには財産区の費用が投入されているため、エリア拡大のネックは費用面と共和住民の同意が必要な点と考える。 ・ エリア拡大となると、他地区の顔、利用者宅が分からないことが心配。 ・ エリア拡大に伴う費用面は町が考えるべきだ。 ・ 一人暮らしで病院に通われている人の利用は変わらないが、利用率が高齢化や死亡等により低下している	・ 共和の福祉バスと同じような方法で、他地区でも実施できないか議会でも課題としている。共和地区の運行方法や課題を精査する必要がある。	・
鳥獣被害	・ 鳥獣被害を防ぐには、地域にお金落ちる仕組みが必要だ。	・ ジビエについては、1市5町の事務レベルで検討していく予定。	・
農林関係	・ 山を元のあるべき姿に戻すのに100年かかるが、何も取り組んでいないのでは。 ・ 人命を第1に考え人家周辺から災害に強い森林整備していかなければならないと思う。 ・ 本気で、災害に強い山林づくりに取り組んで欲しい。森林組合は指導にあたるべきである。	・ 第5次総合計画にも、農林業の活性化とある。災害に強い山づくりには具体的には示されていない現状であるが、議会も考えていく。	・ 水源環境保全税（令和8年迄）を存続できるように県へ働きかけている。
	・ 収入を得るような広域的な連携のひとつとしてジビエ等があると思うが、そのほかにも取り組んでるものはあるのか。	ジビエ施設については大井町、松田町と前向きに連携していくとのこと、一般質問での回答をもらっている	
	・ ジビエの取り組みはどうなっているのか。	・ 1市5町(広域)で取り組む事となり、各担当課長が集まり課題を整理することから始める。	・
	・ 災害に強い山づくり、山の整備をしなければ、水も供給出来なくなる。お金と時間はかかるが早急に取り組むべきである。 ・ 山づくりを進める事で、鳥獣被害やヤマビルも減少していくのではないか。	・ 森林環境税等の活用で計画的に整備していくべきである。	・ 水源環境保全税の活用にも努めている。

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月3日

場所：共和のもりセンター

開催地区：共和地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
観光関係	・ つぶらの公園に車を止め、大野山に登るハイカーが、全く別の場所に下山してしまうケースが多々ある。道迷いを防ぐために看板の設置が必要。（帰り道が分からなくなったハイカーに良く尋ねられる）	・ ハイキングを楽しんでいただくためにも道迷いの防止策は必要である。町に伝えたところ看板は設置された。	・ （仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして、つぶらの公園～大野山までのハイキングコースの整備、案内板等の設置を考えている。
	・ 現在川崎市の企業等との交流を、地元NPO法人が中心で行っている。交流を通じて町が潤うことが大切で、地元と共に町も一緒に頑張っている。		
	・ つぶらの公園の次の利活用は。ターゲットを絞ったりする工夫が必要ではないか。	・ 議会でこれから研究していく。	・
	・ 大野山山頂からの星はとても綺麗で景色も良い。観光に繋げたいが道路の整備が必要である。		・
総務・その他	・ 台風の時など、町として早期の避難指示を出すべきでは。地域の道路状況や倒木の発生等避難指示が出てからでは遅いのではと恐れている。	・ 町としても状況を見て、避難可能な早めの段階での避難指示を出している。地域の状況に応じて自主避難のタイミングを見極めて避難して頂きたい。	・
	・ 道幅が狭い為、救急車が近くまで来れない時の対策をして欲しい。 小田原消防になって、救急車の到着時間が延びた。	・ 町内の救急車が不在の時は、町外からの出動などで、時間がかかることもある。	・ 道幅が狭いところは、ストレッチャーで対応している。装備が軽自動車には積みこめない為このようにしている。小田原消防になってというより、救急対応件数が増加している。山北、松田、足柄署とで対応している。
	・ 議会は災害対策、防災対策について協議しているのか。	・ 災害・防災対策について、議運のメンバーで研修している。 議会は議会災害対策規定によって対応しているが、今後は行動指針等を作っていく。	・
	・ 以前連合自治会長会議で町が地域防災リーダーをつくるといっていたが立ち消えになっている。消防団OBなどをお願いできれば。	・ 町は次年度から自衛隊出身の防災の専門家を防災監として雇用したいと予定している。地域からも防災リーダーが出てもらい組織ができることを共に考えたい。	・ 地域防災リーダーの組織については継続して研究してきている。防災監の導入により組織づくりを目指している。
	・ 南足柄市では、消防団で親子三代分団長をやられた方を表彰している。山北町でも表彰してはどうか。また、100年以上の企業や店も表彰してはどうか。	・	・ 町は山北町表彰条例に則って行っている。
	・ 台風19号の際、土砂により道が塞がれ避難所に行かれなかった。町が対応中ではあるが、土砂が抜けるような対策をしていただきたい	・	・

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月3日

場所：共和のもりセンター

開催地区：共和地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
福祉・その他	山北町内の在宅訪問ヘルパーが足りない。介護される年齢なのにヘルパーをやらざるを得ない。	介護全般で人手不足という課題があることは認識している。	
議会への要望	一般質問の質問を見ることができるが、傍聴に行かないと町側の答弁を町民はみることができない。HPなどで公開すべきでは。	議事録は議会HPで公開しているが、早めに見ることができるようにしていきたい。	
	議会だよりの一般質問を読み、もっと質疑の内容が分かるよう詳しく掲載して欲しい。質疑の内容が議会だよりでだけではわかりにく		
	自治会要望をだしてもなかなか叶えてもらえない。議員でも目を通して検討してほしい。	自治会要望の事案の内容や進捗状況の確認は議員として充分認識していく。	